

合掌

先日富子あて梁一死志の様子告知致貴殿

にも傳え被下採願置きました如く

當時は心頭共混雜致して居り手紙を喜

勇氣とし無く不交々失礼致しました

當時の様子思ひ出すに涙致しかる

稚幼の最後をとげてた事の穴と残念

存をまう あやせとを致せし時もすく近

有り下泣声も立ち居つた故少しも不知講の

波杯が便所より歸り道見付て下れた採の

指末病院に行く途中も死ぬ程の大怪我

と肩うぶが少しも痛くとも云ふ迄くとも無

く病院に行くに医師の手當中痛

とうよふふど四五回度申せしのみ點つて手當を

さして居りし程に私文に

病院に白血球のヤリどく導きえ有つた

ゆかり所を運要く丁度届切れて有つた

事も又愉血の時も十七人もの申し出着が

有つたのも不拍(其の中血の念ふ人が七人)

三人がともぞつた血が早くすまなむばかり

白血球と赤血球の中々分岐せぬ事

手後れ、相成り死に到らしめたる事など

思ふだの幾念の有らざる

戦場中の犠牲ととも思ひ又無王野令

ごども存り下事ししう死して後おんは悔み

甚しんいもかえらぬ事、只運命とあまなて

口唇うまうが、あれ程違者、青ちあれ程

首押おし可憂かられ居つたのよと思ふ心と

又泣けて今日此項の明り暮るり我之一家、

ありては涙のみごと

幸ひ官探も、世同様にお劇心を受けて

どうやら妻も悲嘆の中、病氣をも不度、過

こぼりまう、甚の節り此丁ちようちう悔電

並に後悔は、其の上多ふ、香前、大い

珍しく、世同様、の程、事、有難く、一家を

譽りて、憧んで、厚く、世禮申上まう。

乱筆、之、此、心、まう、の、致、致、此、礼、

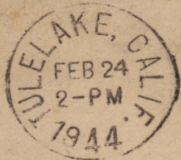
二月廿二日

竹下保克

二〇九

歸次朝幸殿

E. Takeshita
5706 - E Tule Lake
Newell Calif



Mr. T. Nozawa
11 - 6 - F
Topag. Utah
(Central Utah)